

法蔵館書店ニュース 9月

目次

話題の本	P1	特集1: 絵ものがたり特集	P12~13
法蔵館新刊案内	P2~4	特集2: 2022年 法語カレンダー	P14
法蔵館重版案内	P4~5	お知らせ	P15
法蔵館刊行予定案内	P5	法蔵館書店ベスト10・メール配信サービスご案内	P16
法蔵館書店新着案内	P6~11		

★お知らせ★ 9、10月の書店休業日

9月のお休み: 5日・12日・19日・26日

10月のお休み: 3日・10日・17日・24日・31日

話題の本

●神社新報 (2021/8/2)

【佛教学研究叢書41】

『流行神—民間信仰におけるハヤリ・スタリとそのメカニズム』

村田典生著・A5判・240頁・6,050円

ISBN: 978-4-8318-6270-9

●大乗 8月号 (2021/8/1)

『いまこそ読みたい 歎異抄』

満井秀城著・A5判・296頁・2,860円

ISBN: 978-4-8318-8775-7

●月刊みんぱく 8月号 (2021/8/1)

『宗教性の人類学』

—近代の果てに、人は何を願うのか—

長谷千代子、別所裕介、川口幸大、藤本透子編

A5判・420頁・4,400円・ISBN: 978-4-8318-5718-7

●京都新聞[朝刊] (2021/8/1)

『室町時代の祇園祭』

河内将芳著・四六判・248頁・1,980円

ISBN: 978-4-8318-6263-1

●週刊現代 (2021/7/27)

『お盆のはなし』

蒲池勢至著・四六判・116頁・1,320円

ISBN: 978-4-8318-6419-2

●茨城新聞 (2021/7/22)

『王法と仏法』

—中世史の構図—【法蔵館文庫】

黒田俊雄著・平 雅行解説・文庫判

322頁・1,320円・ISBN: 978-4-8318-2607-7

●仏教タイムス (2021/7/22・29合併号)

『伝教大師 最澄』

大久保良峻著・四六判・306頁・2,750円

ISBN: 978-4-8318-7744-4

●フリーペーパー ののさま Vol.34 (2021/7/10)

『真宗入門』

ケネス・タナカ著・四六判・293頁・2,200円

ISBN: 978-4-8318-2055-6

『絵ものがたり 正信偈』

—ひかりになった、王子さま—

浅野執持文、市角壮玄絵・A5判・48頁・1,430円

ISBN: 978-4-8318-8716-0

『ブッダの小ばなし—超訳 百喻経—』

釈 徹宗監修、多田 修編訳・四六判・118頁

1,100円・ISBN: 978-4-8318-2501-8

『地獄』【法蔵館文庫】

石田瑞鷹著、末木文美士解説・文庫判・318頁

1,320円・ISBN: 978-4-8318-2606-0

法蔵館文庫

◆儀礼と権力 天皇の明治維新

法蔵館文庫

【歴史】

ジョン・グリーン著・文庫判・334頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-2625-1

日本の「近代」創出に天皇がはたした身体的役割とは何か。従来とは異なる儀礼論的アプローチにもとづきながら論じた、画期的試み。

■目次

序章 明治天皇を読む

第一部 近代天皇と国家儀礼

第一章 孝明政権論

——将軍の上洛と国家儀礼の再編成

第二章 天皇の権力

——国家儀礼としての「五ヶ条の誓文」

ほか

試し読み



◆梁の武帝—— 仏教王朝の悲劇

法蔵館文庫

【歴史】

森三樹三郎著、船山 徹解説・文庫判・217頁・1,100円

ISBN:978-4-8318-2626-8

儂くも侯景の侵入に遭い餓死した皇帝菩薩武帝。果たして仏教溺信が招いた悲劇だったのか。南朝士大夫の精神を描出した傑作を文庫化。

■目次

一 序 説

二 六朝時代の性格

三 武帝の生立ち

四 武帝の政治

五 梁代の文化と武帝の教養

ほか

試し読み



◆天平芸術の工房

法蔵館文庫

【歴史／美術】

武者小路穰著、山岸公基解説・文庫判・240頁・1,320円

ISBN:978-4-8318-2627-5

正倉院や東大寺など、天平時代の花やかな芸術創造にたずさわった工人たちの活動を当時の東アジアの情勢も視野にいれ丹念に解明。

■目次

概観 古代国家の工人たち

1 律令官司の画工

画工司の組織／中国・朝鮮の画工

2 渡来した画工

はじめて来た画工／飛鳥寺の造営

ほか

試し読み



◆ひとりふたり・・—— 報恩講を迎える

四衢 亮編・A5判・24頁・136円

※30冊以上は110円、100冊以上は送料無料

身近な話題から仏教・真宗の教えにふれる聞法誌。

【定期購読受付中!】定期購読をお申込みいただくと……

通常注文より、優先的にいち早くお届け!

買い忘れなく安心! などのお得感満載!

詳しくは、法蔵館書店までお問い合わせください。

試し読み



【真宗／仏教】



《目次》 ※「往生際の日本史」は今回が最終回です。

- ◎いのちの言葉 バンデミックの犠牲者をともに悼む …… 島蘭 進
- ◎往生際の日本史(浄土真宗編) 理想的な往生際とは …… 小山聡子
- ◎はてなの仏教用語 自然 …… 木村宣彰
- ◎真宗のしきたりの不思議 報恩講ってなに? …… 松本智量
- ◎おうちで精進料理(夏)
スイートマーメレードポテト …… 西川玄房
- ◎カンタン英語で浄土真宗入門 英語で和讃に親しむ …… 大來尚順
- ◎お寺でヨーガ 秋のヨーガ
全身調整——身も心も調え、整える!! ③の巻 …… Yai
- ◎真宗の名言名句
「当たり前」とすませておけるのは、魂の不感症 …… 渡邊晃純



◆絵ものがたり 正信偈 2

—— インドから中国へ ひかりを伝えたお坊さま

浅野執持:文、釈徹宗:解説、藤井智子、加藤正、麻田弘潤:絵
A5横判・34頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-8791-7

真宗門徒なら誰もが知ってる正信偈。さて、その内容は?
正信偈に込められた親鸞聖人のこころをイメージ豊かに伝える絵本、第二弾。

■目次

龍樹菩薩—絵:藤井智子(切絵・水彩)/解説:釈 徹宗

天親菩薩—絵:加藤 正(水彩)/解説:釈 徹宗

曇鸞大師—絵:麻田弘潤(消しゴムはんこ)/解説:釈 徹宗

【真宗／仏教】



試し読み



【既刊】絵ものがたり 正信偈 —— ひかりになった、王子さま 浅野執持文、市角壮玄絵 1,430円

◆金沢文庫蔵

国宝 称名寺聖教の古訓と漢字音

納富常天著・A5判・368頁・16,500円・ISBN:978-4-8318-6982-1

金沢文庫蔵「称名寺聖教」に付された訓点を網羅的に採集・整理・分類。中世における漢字の読み方が分かる基礎的研究。

■目次

- 第一章 称名寺聖教における訓(振り仮名)
- 第二章 訓と一字語・熟語
- 第三章 称名寺聖教における訓がある書名とその数量
- 第四章 称名寺聖教における訓の表記 ほか

試し読み



◆三余続録

吉川忠夫著・四六判・255頁・2,530円・ISBN:978-4-8318-7748-2

著者が四半世紀にわたり寄せてきた『中外日報』社説のなかから七二篇を選録。著者の日々の思索を投影する、中国史に関する随想集。

■目次

- 01 「七十二」という数字
- 02 『陳寅恪最後の二十年』
- 03 『唐代密宗』
- 04 『中国禅思想史』
- 05 千里の江陵 一日にして還る(上)(下) ほか

試し読み



法蔵館重版案内

◆新編 大蔵經——成立と変遷

2刷 【仏教】

京都仏教各宗学校連合会編・A5判・309頁・1,980円
ISBN:978-4-8318-7708-6

仏教典籍の悠久の歴史を一冊に。旧著『大蔵經——成立と変遷』を50年ぶりに一新。15名による最新研究を盛り込んだ待望の概説書。

■目次

I インド・アジア諸地域、II 中国、III 朝鮮、IV 日本

【執筆】

南 清隆、松田和信、小野田俊蔵、赤尾栄慶、大内文雄、
野沢佳美、梶浦 晋、馬場久幸、宮崎健司、川端泰幸、
松永知海、小山正文、水上文義、中尾良信、吉田観禮



◆いのちの浄土——中村薫遺稿集

2刷 【仏教／真宗】

中村 薫著・四六判・192頁・1,430円
ISBN:978-4-8318-8789-4

150日間の入院という大病を経て見出した境地、「生かされて生きる身の幸せ」を語る。亡くなる前年までの講演四篇を収めた遺稿集。

■目次

金子みすゞとお念仏
『華嚴経』と『大無量寿経』
如来の作願をたずぬれば
生老病死 ほか



法蔵館刊行予定案内

〈2021年10月 刊行予定〉

聖徳太子千四百年御聖忌記念出版

◆聖徳太子と四天王寺

【仏教／歴史】

四天王寺編・B5変判・予272頁・予3,000円・ISBN:978-4-8318-6070-5

聖徳太子が創建して千四百年にわたり日本仏教界にとって重要な寺院である四天王寺。発掘、歴史、史料、美術等の最新成果を第一線の研究者が考察。四天王寺研究に必読の書。

◆真宗悪人伝

【真宗／仏教】

井上見淳著・四六判・284頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-8790-0

善信房親鸞、熊谷直実、弁円、慈信房善鸞、唯善、蓮崇、顕如、教如、智洞、金子大榮。浄土真宗の歴史に輝く、「悪人」たちの物語！

◆悲劇の宗政家 前田誠節^{じょう せつ} —— 臨済宗妙心寺派の近代史

【近代史／仏教】

藤田和敏著・四六判・202頁・1,980円・ISBN:978-4-8318-7749-9

廃仏毀釈の荒波を乗り越え、明治の新時代を背負った禅僧、前田誠節。封建的な仏教界の体質に立ち向かい、近代化事業を推し進めた男の生き様を追う。

◆生きてまします法蔵菩薩

鍵主良敬著・四六判・255頁・3,300円〈方丈堂出版〉

著者の一周忌を期した遺稿集。

「回向の主体として生きる法蔵菩薩」「『祖徳讃嘆』生きてまします法蔵菩薩」など、前著「近代真宗教学往生論の真髄」以後の著述と講話の内容を中心にまとめる。



【サンガ聖典シリーズ3】

◆親鸞に聞く 大無量寿経の意Ⅲ

藤場俊基著・A5判・108頁・880円〈サンガ伝道叢書〉

2014年10月から2017年6月まで真宗大谷派大垣教区の連続講座として開催された藤場俊基氏による『大無量寿経』講義が多くの方のご協力のもとに『親鸞に聞く大無量寿経の意』として刊行！ 第Ⅲ巻の講義の範囲は、『仏説無量寿経巻上』勝因段の法蔵比丘と世自在王仏の出あいから第十一願までとなっています。



◆親鸞を生きる

ひろさちや著・四六判・213頁・1,650円〈佼成出版社〉

浄土真宗の開祖、親鸞聖人(1173-1262年)の生涯と思想を紹介しながら、その生き方や考え方が現代に生きる私たちにどのような示唆を与えてくれるのかを解明する。

「いかにして仏教を人生に活かすか」を探究してきた著者の研究・思索の集大成。

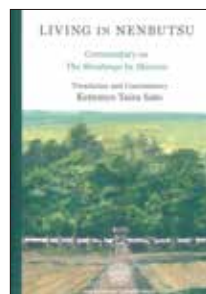


◆LIVING IN NENBUTSU (正信偈)

—— Commentary on The Shoshinge by Shinran

佐藤 平 顕明 訳、解説・A5変判・215頁・7,150円
〈THE BUDDHIST SOCIETY TRUST〉

佐藤平師による正信偈の英訳と英文解説。



◆CD 普及版 本願力のめぐみゆえ

平田聖子作曲・CD(14分)・500円〈浄光寺〉

広島・龍仙寺の本堂再建記念として平田聖子氏が作曲した合唱曲。普及版では低い音で歌いやすくした斉唱版を収録。



◆仏教讃歌「本願力のめぐみゆえ」

——親鸞聖人『正信偈』意識 解説と味わい

藤澤信照著・A5判・36頁・330円〈浄光寺〉

滋賀・浄光寺の藤澤信照師が、歌詞の元となった正信偈の意識「しんじんのうた」天親章の言葉について解説した冊子。



◆真宗大谷派手帳 2022年版

東本願寺出版編・縦150mm×横100mm
660円〈東本願寺出版〉

月間・週間予定表、真宗本廟・大谷祖廟における収骨・読経・帰敬式などのお取り扱いなどのご案内を網羅。週間予定表にはこころに響くことばを掲載。鉛筆・住所録・全国主要都市地下鉄路線図付。



【新潮新書915】

◆不要不急——苦境と向き合う仏教の智慧

横田南嶺、細川晋輔、藤田一照、阿 純章、ネルケ無方、露の団姫、松島靖朗
白川密成、松本紹圭、南 直哉著・新書判・238頁・858円〈新潮社〉

「不要不急」を切り捨てて何のための人生か。大切なものを他人に決めさせてもいいのか。10人の僧侶が、仏教の智慧を駆使して、苦境と向き合うヒントを提示する。混迷の時代を生き抜くための十人十色の不要不急論。



◆近代のサンスクリット受容史

西村実則著・A5判・192頁・3,300円〈山喜房佛書林〉

近代になって仏典をサンスクリットあるいはその俗語パーリ語で読むようになったことは、仏教界に大きな胎動を呼び起こすこととなった。本書はヨーロッパならびにインド、セイロンに原典研究の目的で留学した人びとの師との出会い、それにその後の事跡などを中心に鳥瞰したものである。



◆空海の言語哲学

——『声字実相義』を読む

竹村牧男著・四六判・389頁・3,520円〈春秋社〉

『声字実相義』の解説を中心に、それまでのインド仏教の中観・唯識の言語観を踏まえて、空海の密教的言語哲学の独自性を明確に解説した画期的論考。

井筒俊彦の空海論にも言及。



【別冊太陽】

◆弘法大師の世界

—— 諡号下賜1100年

武内孝善監修・A4変判・159頁・2,860円〈平凡社〉

「弘法大師」諡号下賜1100年を記念し、空海としての史実と伝承が語る「お大師様」の諸相を、全国の史跡や貴重な資料で読み解く。



【近代日本宗教史】

◆模索する現代—— 昭和後期～平成期

島蘭 進、末木文美士、大谷栄一、西村 明編

A5判・281頁・3,630円〈春秋社〉

近代合理主義により世俗化する現代の日本。衰退した宗教は資本主義に飲み込まれ、スピリチュアリティとして消費の対象となる。だが、一方で災害や公害に巻き込まれた人々は既存の宗教によるケアを求める。現代における宗教の価値とは何なのだろうか。



◆中世寺院の仏法と社会

永村 眞編・A5判・617頁・13,200円〈勉誠出版〉

中世日本を読み解くための必読の書。畿内近国、関東の諸寺院に伝来する史料群を博搜し、「日本仏教」を形づくる多彩な仏法とその発展を実現した寺院社会の構造と思想的背景を描き、中世寺院の歴史的特質と展開を明らかにする。



◆中世禪の知

末木文美子監修、榎本 渉、亀山隆彦、米田真理子編
四六判・339頁・3,190円〈臨川書店〉

中国との交渉、密教との関連、諸宗との議論といった試行の中で、中世禪の教学はどのように形作られてきたのか。仏教者の真剣な営みの中から生まれてきた新しい思想の展開に、さまざまな角度から光を当てる論考を収録する。



◆道元思想を解析する

——『正法眼蔵』データベースが示す真実

門馬幸夫著、南 直哉解説・四六判・268頁・3,300円〈春秋社〉

『正法眼蔵』のデータベース化を利用し、用語使用の精緻な分析や写本の比較などから、現成公案と十二巻本の問題を中心に、道元の如来蔵思想や本覚思想の評価、証上の修、また道元思想の変遷など、難解な道元思想の核心に迫る。鬼才・南直哉老師の解説を付す。



◆中国禪思想史

伊吹 敦著・A5判・907頁・11,000円〈禅文化研究所〉

禪宗は、精神の自由を求めたアウトローたちから始まった。数十年にわたる禪宗研究をふまえ、「社会における禪宗の位置」という新たな視点に立って、中国禪思想史を叙述する。『禅文化』連載をもとに単行本化。



◆京都妙覺寺藏 日蓮大菩薩日像菩薩絵伝

常円寺日蓮仏教研究所編・A4判・93頁・2,200円〈平樂寺書店〉

妙覺寺は、日蓮聖人ならびにその高弟日朗聖人の意を奉じて上洛した日像上人の遺跡であり、江戸時代の享和年間(1801～3)に作られた日蓮大菩薩の一代記絵『高祖一代絵図』三十幅が秘蔵されており、これは平成30年に日像菩薩生誕七百五十年の記念出版『日像菩薩德行略絵伝』と同時期、同信徒により奉納されたもの。令和3年、日蓮大菩薩降誕八百年にあたり、合冊して『日蓮大菩薩日像菩薩絵伝』とし公刊。



◆仏教は宇宙をどう見たか

—— アビダルマ仏教の科学的世界観

佐々木閑著・文庫判・246頁・990円〈化学同人〉

仏教の思想を体系的にまとめた「アビダルマコーシャ」。その「仏教的世界観の客観的叙述」を考察し、釈迦が考えたこの世界のあり方を読み解く。現代科学に似ているようで全く異なる世界観を示し、仏教と科学の接点を考える書。



◆葬送習俗事典

—— 死穢の民俗学手帳

柳田国男著・文庫判・256頁・990円〈河出書房新社〉

『禁忌習俗事典』の姉妹篇となる1冊。埋葬地から帰るときはあとを振り返ってはいけない、死家と飲食の火を共有してはいけないなど、全国各地に伝わる風習を克明に網羅。全集未収録。葬儀関係者に必携。



◆禁忌習俗事典

—— タブーの民俗学手帳

柳田国男著・文庫判・199頁・990円〈河出書房新社〉

「忌む」とはどういう感情か。

ここに死穢と差別の根原がある。

日本各地からタブーに関する不気味な言葉、恐ろしい言葉、不思議な言葉、奇妙な言葉を集め、解説した読める民俗事典。



◆真鍋俊照著作集 第二巻

—— 密教図像と儀軌の研究 抜

真鍋俊照著・A5判・439頁・6,600円〈筑摩書房〉

図像は仏画や仏像の源泉である。

本巻は著者長年の研究成果である『密教図像と儀軌の研究』から17篇を選び抜き、図像と儀軌の相互関係、変遷を詳細に解明する。



◆こわばる身体がほどけるとき

—— 西田幾多郎『善の研究』を読み直す

板橋勇仁著・四六判・210頁・2,420円〈現代書館〉

現代社会での自己中心性「我執」がもたらす身体の「こわばり」は大きな問題だったが、さらに今回の感染症の流行で、自己他者いずれにおいても管理・統御・監視による身体の「こわばり」が大きな関心ごとにならざるを得なくなってきた。

日々、生きづらくなっていく身体をどのように「ほどいて」「ゆるめて」いくか。西田哲学をベースに、自己と他者、そして社会との関係、そこでの身体の在り方などを徹底的に考え抜くことによって困難な時代の出口を探していく。



法 蔵 館 書 店 新 着 雑 誌 案 内

◆同朋 9月号

真宗大谷派宗務所出版部編・A4判・56頁・400円〈東本願寺出版〉

「仏教がみちびく、あらたな人生」をコンセプトに、生活に密着した話題から親鸞聖人の教えまで、日々の暮らしのなかにある大切なことを見つめる月刊誌。

■目次

◎インタビュー 津村記久子さん(小説家)

小説をとおして、友達をつくっている。

◎特集 お菓子は別腹!

・小林聡美のぼちぼちは好日

・東本願寺界限 今昔物語……「すや餅(御華束)」 ほか



◆大乘 9月号

大乘刊行会編・B5判・88頁・375円〈本願寺出版社〉

門信徒の家族が楽しく浄土真宗に親しむための月刊誌。お念仏のよろこびをご家族のみなさまにお届けします。研修会や勉強会にも最適! 門徒推進員の方にもおすすめです。

■目次

・いのちのえほん 最終回

「いのち、かげろうのなかへ」……なかがわあきら×ひじ みえ

・DAIJO法話「菩薩のような生き方」……宇治和貴

・マンガ お釈迦さま物語「四門出遊」……岡橋徹栄×一ノ瀬かおる

・教えて! 浄土真宗「六三法門」……藤澤信照 ほか



特集1 絵ものがたり特集

新刊『絵ものがたり 正信偈 2』の出版を記念して、難解な聖教・経典をわかりやすく絵で表現した作品を集めました。子どもから大人まで楽しめます。

法 藏 館 最 新 刊

◆絵ものがたり 正信偈2

—— インドから中国へ ひかりを伝えたお坊さま

浅野執持【文】 釈 徹宗【解説】

藤井智子・加藤 正・麻田弘潤【絵】

A5横判・34頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-8791-7

正信偈に込められた親鸞聖人のこころをイメージ豊かに伝える絵本、第2弾は龍樹菩薩、天親菩薩、曇鸞大師のストーリーを描く。



◆絵ものがたり 正信偈

—— ひかりになった、王子さま

浅野執持【文】 市角壮玄【絵】

A5横判・47頁・1,430円・ISBN:978-4-8318-8716-0 **5刷**

イメージをかきたてる絵と語りによって、『正信偈』に込められた親鸞聖人の願いの世界へと誘ってくれる絵本。



◆まんが正信偈のおはなし 上・下

和田真雄【原著】 森村たつお【イラスト】

B5判・各734円

上巻…仏さまの教え

56頁・ISBN:978-4-8318-8115-1 **9刷**

下巻…七人の高僧の教え

72頁・ISBN:978-4-8318-8116-8 **9刷**

浄土真宗の家庭でもっともよく読まれるお勤めである『正信偈』の内容を、物語仕立の漫画にした話題の書。



◆親鸞さまの教え——歎異抄の話

中村ひろし【絵】、早島鏡正【解説・校閲】・B5判・32頁・628円(青山書院)

親鸞聖人のことばを記した『歎異抄』を漫画化。

その他に「王舎城の物語」や「猿の王さま」など仏典に基づいた仏教の教えを、レトロなタッチで描いた漫画。



◆歎異抄 【まんが学術文庫】

唯円【著】、Teamバンミカス【まんが】
文庫判・190頁・660円(講談社)

師・親鸞聖人の教えを聞き書きし『歎異抄』をまとめた唯円。
ただただ阿弥陀の言葉を伝えるために、縦横無尽に巡る元
気坊主・唯円の活躍を楽しみつつ、『歎異抄』の意味に、あら
ためて耳を傾けよう!



◆絵で読む観無量寿経

稲葉是邦【文】、佐川美代太郎【絵】
A5判・157頁・2,200円(西山浄土宗)

平易に現代語訳した『観無量寿経』の内容をお子さまとも一
緒に読めるようにイラストとともに。お経の内容を知りたい方に
もわかりやすい一冊。『観無量寿経』の物語を、ぜひお楽しみ
ください。



◆地獄と極楽

野沢ともかつ【絵】・B5判・72頁・600円(大道社)

地獄に迷い込んだ主人公が八大地獄(等活地獄から阿鼻地獄まで)と極楽を旅する漫画。地獄の獄卒たちによる責苦は迫力満点。



特集2 2022年法語カレンダー

◆2022年 ほのぼのカレンダー

画・文字／谷内正遠

150円〈法蔵館〉

教育者として、念仏者としてひたむきな人生を歩まれた故・東井義雄先生の心あたたまるお言葉(詩)を12ヶ月の法語とし、画・文字／谷内正遠先生の心なごむカレンダーです。ともすれば忘れがちな、「生かされていることのありがたさ」「感謝の心」をコンセプトにしております。

※寺院名等の印刷も承ります。(有料)

詳細は法蔵館営業部

075-343-0458までお問い合わせください。

ほのぼのカレンダー法語解説書
春夏秋冬 いつもありがとう
東井義雄著・110円



◆2022年版 法語カレンダー

150円

〈真宗教団連合・出版広報委員会〉

浄土真宗のみ教えに生きる門信徒の皆さまが、本願を喜び、一日一日をお念仏の薫る家庭にさせていただきたいという願いをもって、味わい深い法語が掲載されたカレンダー。

2022(令和4)年の法語カレンダーは、昨年に続き「宗祖親鸞聖人に遇う」をテーマとした13法語が選ばれています。

随筆集
今日のことば 2022年版
110円〈東本願寺出版部〉



◆2022年版 法語カレンダー

143円

〈真宗興隆会〉

今年の表紙は南砺市光徳寺蔵の蓮如上人六字名号です。法語は善導大師作「勸衆偈」のお心を日常的なことばで表記しました。法語の揮毫は金沢市光徳寺の井上裕氏、絵は北本真隆氏によるものです。

中外日報「宗教文化講座」

法蔵館書店 協賛

テーマ:「法華経の行者に学ぶ——日蓮聖人生誕800年記念」

第3回 リモート可

9月11日(土)「戦国仏教と京都——法華宗・日蓮宗を中心に」

〈京都府民総合交流プラザ 京都テルサ(近鉄東寺駅から東へ徒歩5分)・定員:168〉

開催延期

奈良大学 文学部教授 河内将芳氏 今後の開催時期など、詳しくは下記まで。

第4回 リモート無

10月9日(土)「日蓮主義とはなんだったのか」

〈京都新聞文化ホール(地下鉄烏丸線丸太町駅7番出口すぐ)・定員:120〉

佛教大学 社会学部教授 大谷栄一氏

開催
情報

延期となっておりました、第2回「宗教文化講座」の開催日が下記の通り決定いたしました。

第2回 リモート可

11月13日(土)「日本仏教における法華信仰の変遷」

〈池上本門寺「朗峰会館」(東急池上線池上駅から徒歩15分)・定員150〉

東京大学 人文社会系研究科教授 蓑輪顕量氏

※受講申し込み・お問い合わせ ⇒ 中外日報社営業企画部

〒601-8004 京都府京都市南区東九条東山王町9番地

TEL: 075-682-1625 FAX: 075-682-1722

Eメール: shuppan@chugainippoh.co.jp

希望する講座、氏名、年齢、住所、電話番号をご記入の上、ハガキ、FAX、メールでお申し込みください。

●受講料は1講座1,000円(税込)、リモート参加も同額

※リモート参加(Zoom)のお申し込みは、中外日報社上記のメールアドレスに「リモート参加」と明記の上、希望する講座、氏名、住所、メールアドレスをお知らせください。

※2020年の講座の受講票をお持ちの方は、そのままお使いいただけます。

第15回 日本思想史学会奨励賞 受賞

石原 和 著

法蔵館刊

『「ぞめき」の時空間と如来教
——近世後期の救済論的転回』

A5判・370頁・4,950円・ISBN: 978-4-8318-6264-8



◆◆◆法藏館書店売行ベスト10(8月期)◆◆◆

順位	書名	著者名	出版社名	定価(税込)
1	溶け合う世界へ——南無阿弥陀仏のすくい2	瓜生 崇	響流書房	110円
2	南無阿弥陀仏のすくい	瓜生 崇	響流書房	110円
3	正信偈講義 I	藤場俊基	サンガ伝道叢書	880円
4	正信念仏偈註解	池田行信	法藏館	6,600円
5	親鸞に聞く 大無量寿経の意Ⅲ	藤場俊基	サンガ伝道叢書	880円
6	浄土論註講義 I	藤場俊基	サンガ伝道叢書	880円
7	観音菩薩の化身 聖徳太子——浄土真宗「和国の教主」	本願寺出版社	本願寺出版社	880円
8	大いなる共震の「悲の海」へ	高柳正裕	サンガ伝道叢書	880円
9	法話のきほん	伊東恵深	法藏館	1,430円
10	生きてまします法蔵菩薩	鍵主良敬	方丈堂出版	3,300円

【メール配信サービスのご案内】

法藏館書店では、WEBサイトで本をご購入いただいた方やアンケートにお答えいただいた方に新刊情報などのメール配信サービスを行っております。

◎アドレス変更・配信停止について◎

<http://www.hozokan.co.jp>のページ下の「メールサービス」から、メールアドレスの登録と解除を行ってください。過去のメールもご覧になれます。

◆ご注文・お問い合わせは、メールの他に、電話・FAX・はがきでも承ります。
店頭在庫がない場合はお取り寄せとなります。ご了承ください。

◆送料はご購入額合計により
定価16,500円(税込)未満 送料——450円 代引手数料 330円
定価16,500円(税込)以上 送料、代引手数料ともに無料

◆価格表示は全て税込価格です。



おかげさまで410年を迎えることになりました。
仏教風土の都・京都に育てられた、わたしたち。
そよ風が花の香りを伝えるように、これからも、
仏教文化を伝える風でありたいと思います。

法藏館書店

住 所: 〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入

電 話: 075-343-0458 FAX: 075-371-0458

発行人: 西村明高

E-mail: shop@hozokan.co.jp

[営業日および営業時間]

月～土: 9:30～18:00

祝 日: 10:30～18:00

(休業日: 毎週日曜日・お盆・年末年始)

<http://www.hozokan.co.jp>

仏教の風

検索



仏教書総目録刊行会 <http://www.bukkyosyo.gr.jp>

法藏館ブログ「編集室の机から」を更新中!

twitter

facebook

つぶやき中〜!

